

清流のほとり

令和6年5月1日(水)発行

園長 津田 将美



ENCHO

両方の園にアクセスしていただき閲覧数のアップ、情報の共有にご協力ください。



寄 松田

カラー版はHPで…幼稚園HPのQRコードです↑

やまぶきの季節

町のいたる所にやまぶきの花が咲き始め、鮮やかな黄色が目を楽しませてくれる季節になりました。幼稚園の隣を流れる用水路の上にもやまぶきのきれいなアーチがかかり、横を通るたびに気持ち明るく照らしてくれています。



園のそばに咲くやまぶき

毎年カニとりをしている用水路にも、小魚が元気に活動をし始め、自然の営みが一斉に活気づいてきたことを感じます。カニさんも、ちらほらと水面に顔をのぞかせてくれるようになりました。子どもたちの活動もこれからさらに、広がりを見せてくれることと思います。

園では2日間のお弁当の日を終えて、いよいよ給食が始まりました。年中さん、年長さんは心待ちにしていたようです。その気持ちは、もちろん職員も同じです。おいしく愛情のこもった給食の良さを年少組の子どもたちも知ること、園全体で「食」への感謝の心も育てていきたいと思っています。

お弁当第1日目に各教室を回らせてもらいました。年少組の子どもたちもきちっと席に座って、目を輝かせながらお弁当を食べていました。そんな子どもたちの姿、お弁当の中身を見ながら、園長の目もだんだんと輝いてきました。

「園長先生見て、ママが作ってくれたんだよ。」

「ほら、タコさんがいるよ。」

どの子も、うれしそうに誇らしげにお弁当を見せてくれました。

幼稚園の生活の中には、たくさんの感動があります。子どもたちの笑顔が、ひとつひとつの感動にさらに彩を加え、輝かせてくれているように感じます。

年少組の子どもたちは、バス通園にも少しずつ慣れてきたようです。昨年度までまだまだ教師に甘えていた年長組の子が、年少の子の荷物を手に、下駄箱のそばまでエスコートしてくれています。そんな成長を間近で感じることができる幼稚園の毎日は、本当に素敵な出来事にあふれています。

職員の日々の熱意や努力の上に胡坐をかくだけでなく、自分もできることを探して子どもたちの成長に携わっていきたい、と思いを新たにしたい次第です。

やまぶきの季節は、生きとし生けるものが輝き出す季節です。木々の輝きや様々な生き物の営みに目を向け、寄り添い、じっくりと考え相談して、心の栄養をたっぷりと蓄える季節にしていきたいです。

